



ボリューム Snapshot API メソッド Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

ボリューム Snapshot API メソッド	1
Snapshot の概要	1
詳細については、こちらをご覧ください	1
CreateGroupSnapshot を作成します	1
パラメータ	1
戻り値	4
要求例	4
応答例	5
新規導入バージョン	6
スケジュールの作成	6
パラメータ	7
戻り値	12
要求例 1	13
応答例 1	14
要求例 2	15
応答例 2	15
要求例 3	16
応答例 3	17
新規導入バージョン	18
CreateSnapshot の更新	18
パラメータ	19
戻り値	22
要求例	22
応答例	23
例外	23
新規導入バージョン	24
DeleteGroupSnapshot	24
パラメータ	24
戻り値	24
要求例	24
応答例	25
新規導入バージョン	25
Snapshot を削除します	25
パラメータ	25
戻り値	26
要求例	26
応答例	26
新規導入バージョン	26
詳細については、こちらをご覧ください	27

GetSchedule	27
パラメータ	27
戻り値	27
要求例	27
応答例	27
新規導入バージョン	28
ListGroupSnapshots を参照してください	28
パラメータ	28
戻り値	29
要求例	29
応答例	29
新規導入バージョン	31
ListSchedules (リストスケジュール)	31
パラメータ	31
戻り値	31
要求例	31
応答例	31
新規導入バージョン	33
Listsnapshots を使用します	33
パラメータ	33
戻り値	33
要求例	34
応答例	34
新規導入バージョン	35
ModifyGroupSnapshot の追加	35
パラメータ	35
戻り値	37
要求例	37
応答例	37
新規導入バージョン	38
ModifySchedule の追加	38
パラメータ	39
戻り値	42
要求例	42
応答例	43
新規導入バージョン	44
ModifySnapshot の追加	44
パラメータ	45
戻り値	47
要求例	47
応答例	47

新規導入バージョン	48
RollbackToGroupSnapshot	48
パラメータ	48
戻り値	49
要求例	50
応答例	51
新規導入バージョン	52
RollbackToSnapshot	53
パラメータ	53
戻り値	54
要求例	54
応答例	55
新規導入バージョン	55

ボリューム Snapshot API メソッド

Snapshot の概要

ボリューム Snapshot は、ボリュームのポイントインタイムコピーです。Snapshot を使用して、Snapshot が作成された時点の状態にボリュームをロールバックできます。

ボリューム Snapshot をグループ化することで、関連するボリュームを整合性のある方法でバックアップまたはロールバックできます。グループ Snapshot は、すべてのボリュームスライスファイルの任意の時点のイメージをキャプチャします。そのイメージを使用してボリュームのグループを任意の時点の状態にロールバックし、グループ内のすべてのボリュームのすべてのデータの整合性を確保できます。

定義した間隔で自動的にボリューム Snapshot が作成されるようにスケジュールを設定できます。間隔は、時間、曜日、または日にちで定義できます。スケジュールされた Snapshot を使用して、アーカイブ用にリモートストレージに Snapshot をバックアップすることもできます。

詳細については、こちらをご覧ください

- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"](#)

CreateGroupSnapshot を作成します

CreateGroupSnapshot を使用すると 'ボリュームのグループのポイント・イン・タイム・コピーを作成できます

この Snapshot をあとでバックアップまたはロールバックとして使用すると、Snapshot を作成した時点でのボリュームグループのデータの整合性を確保できます。

- cluster_Full*



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「 attributes 」	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON オブジェクト	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
enableRemoteRepl ication	<p>Snapshot をリモートストレージにレプリケートするかどうかを指定します。有効な値は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> • True : スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされます • 'false': スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされません 	ブール値	いいえ	いいえ
「 enseireSerialCreatio n」	<p>以前の Snapshot レプリケーションが実行中の場合に Snapshot を作成しないように指定します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • True : これにより '一度に 1 つの スナップショットのみがレプリケートされます以前の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合、新しい Snapshot の作成は失敗します。 • 'false': デフォルト別の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合は、この Snapshot を作成できます。 	ブール値	「偽」	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
'expirationTime'	Snapshot を削除するまでの時間を指定します。「保持」と一緒に使用することはできません。'expirationTime' または 'retention' が指定されていない場合 'スナップショットは期限切れになりません時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れになりません。値が null の場合 'スナップショットは永続的に保持されますFIFO の値を設定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、FIFO (First-In First-Out) ベースでスナップショットが保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
「 name 」	グループ Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
「延長」	このパラメータは 'expirationTime' パラメータと同じですが '時刻の形式は HH:mm:ss です'expirationTime' も 'retention' も指定しない場合 'スナップショットは期限切れになりません	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「MirrorLabel」を参照してください	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用するラベル。	文字列	なし	いいえ
「ボリューム」	コピー元のボリュームイメージの一意の ID。	volumeID の配列	なし	はい。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
メンバー	<p>グループの各メンバーのチェックサム、ボリューム ID、Snapshot ID のリスト。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> checksum：保存された Snapshot のデータを表す短い文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。文字列 snapshotID：新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID。Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。整数 volumeID：Snapshot のソースボリュームの ID 整数 	JSON オブジェクトの配列
groupSnapshotID	新しいグループ Snapshot の一意の ID。	グループ Snapshot ID
groupSnapshot	作成されたグループ Snapshot の情報を含むオブジェクト。	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "CreateGroupSnapshot",
  "params": {
    "volumes": [1,2]
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "groupSnapshot": {
      "attributes": {},
      "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",
      "groupSnapshotID": 45,
      "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",
      "members": [
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",
          "enableRemoteReplication": false,
          "expirationReason": "None",
          "expirationTime": null,
          "groupID": 45,
          "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",
          "name": "2016-04-04T22:43:29Z",
          "snapshotID": 3323,
          "snapshotUUID": "7599f200-0092-4b41-b362-c431551937d1",
          "status": "done",
          "totalSize": 5000658944,
          "virtualVolumeID": null,
          "volumeID": 1
        },
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",
          "enableRemoteReplication": false,
          "expirationReason": "None",
```

```

        "expirationTime": null,
        "groupID": 45,
        "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",
        "name": "2016-04-04T22:43:29Z",
        "snapshotID": 3324,
        "snapshotUUID": "a0776a48-4142-451f-84a6-5315dc37911b",
        "status": "done",
        "totalSize": 6001000448,
        "virtualVolumeID": null,
        "volumeID": 2
    }
],
"name": "2016-04-04T22:43:29Z",
"status": "done"
},
"groupSnapshotID": 45,
"members": [
    {
        "checksum": "0x0",
        "snapshotID": 3323,
        "snapshotUUID": "7599f200-0092-4b41-b362-c431551937d1",
        "volumeID": 1
    },
    {
        "checksum": "0x0",
        "snapshotID": 3324,
        "snapshotUUID": "a0776a48-4142-451f-84a6-5315dc37911b",
        "volumeID": 2
    }
]
}
}

```

新規導入バージョン

9.6

スケジュールの作成

'createschedule' を使用して ' 定義した間隔でボリュームのスナップショットを自動的に作成するようにスケジュールできます

作成した Snapshot をあとでバックアップまたはロールバックとして使用すると、Snapshot を作成した時点でのボリュームまたはボリュームグループのデータの整合性を確保できます。Snapshot のスケジュールを 5 分以外の間隔で設定した場合、Snapshot は 5 分単位に繰り上げた時間で実行されます。たとえば、12 : 42 : 00 UTC に実行するように Snapshot のスケジュールを設定した場合、12 : 45 : 00 UTC に実行されま

す。Snapshot のスケジュールを 5 分未満の間隔で実行するように設定することはできません。



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「attributes」	「frequency」文字列を使用して、スナップショットの頻度を指定します。有効な値は次のとおり <ul style="list-style-type: none">「週の日」「月の日」「時間間隔」	JSON オブジェクト	なし	いいえ
「hasError」	* 必要な概要の助け *	ブール値	「偽」	いいえ
「時間」	スナップショットが曜日または月の日モードで実行される GMT 時間で、スナップショットが繰り返し作成される時間数。有効な値は 0~23 です。	整数	なし	いいえ
「lastRunStatus」を参照してください	最後にスケジュールされた Snapshot の作成結果またはステータス。	文字列	なし	いいえ
「name」	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「規約」	スナップショットが繰り返し作成されるまでの分数または GMT 時間で、スナップショットが曜日または月日モードで実行される時間（分単位）。有効な値は 5~59 です。	整数	なし	いいえ
「一時停止」	スケジュールを一時停止するかどうか。 有効な値： <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 	ブール値	なし	いいえ
「巻き取り」	スケジュールを繰り返すかどうか。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 	ブール値	なし	いいえ
runNextInterval	スケジューラが次回アクティブになったときに Snapshot を実行するかどうかを指定します。true に設定すると、次にスケジューラがアクティブになったときにスケジュールされた Snapshot が作成され、false にリセットされます。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 	ブール値	「偽」	いいえ
'scheduleName'	スケジュールの一意の名前。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
'scheduleType'	作成するスケジュールのタイプ。有効な値は snapshot です。	文字列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
'scheduleInfo'	<p>スケジュールに指定した一意の名前、作成された Snapshot の保持期間、Snapshot 作成元のボリュームのボリューム ID 。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • volumeID ： Snapshot に含めるボリュームの ID 整数 • volumns ：グループ Snapshot に含めるボリューム ID のリスト。（整数の配列）。 • name ：使用するスナップショット名。文字列 • enableRemoteReplication ：リモート・レプリケーションにスナップショットを含めるかどうかを指定しますブール値 • Retention ： HH ： mm ： ss 形式での、Snapshot を保持する時間空の場合、Snapshot は無期限に保持されます。文字列 • FIFO ：スナップショットは FIFO （ First-In First-Out ） ベースで保持されます。文字列 • 「 ensureSerialCreation 」 ：以前のスナップショット複製が進行中の場合に、新しいスナップショ 	JSON オブジェクト	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「MirrorLabel」を参照してください	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用するラベル。	文字列	なし	いいえ
'tartingDate'	スケジュールを実行する時刻。設定しない場合、スケジュールはただちに開始されます。形式は UTC 時間形式です。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
「toBeDeleted」と入力します	Snapshot の作成が完了したあとに Snapshot スケジュールを削除します。	ブール値	「偽」	いいえ
「日」	Snapshot を作成する特定の日にち。有効な値は 1~31 です。	整数の配列	なし	○（日にちでスケジュール設定する場合）

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「平日」	<p>Snapshot を作成する曜日。必要な値は次のとおりです（使用する場合）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「D」：0～6（日曜日～土曜日） ・オフセット：月の各週に1～6（1より大きい場合は、週のN～1日にのみ一致します）。たとえば、「offset：3 for Sunday」は月の第3日曜日、「offset：4 for Wednesday」は月の第4水曜日を意味します。offset：0は、アクションが実行されないことを意味します。offset：1（デフォルト）は、Snapshotが毎月のどこに配置されるかに関係なく、この曜日に作成されることを意味します。 	JSON オブジェクトの配列	なし	○（曜日でスケジュール設定する場合）

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
scheduleID です	作成されたスケジュールの ID。	整数
スケジュール	作成されたスケジュールの情報を含むオブジェクト。	スケジュール

要求例 1

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- 可能なかぎり午前 0 時（00 : 00 : 00Z）近くにスケジュールが開始されるように、開始時間または分は指定しません。
- 繰り返し作成されません（一度だけ実行されます）。
- 2015 年 6 月 1 日 UTC 19 : 17 : 15z 以降の最初の日曜日または水曜日（いずれか早い日）に一度だけ実行されます。
- 1 つのボリューム（ボリューム ID = 1）のみが含まれます。

```
{
  "method": "CreateSchedule",
  "params": {
    "hours": 0,
    "minutes": 0,
    "paused": false,
    "recurring": false,
    "scheduleName": "MCAsnapshot1",
    "scheduleType": "snapshot",
    "attributes": {
      "frequency": "Days Of Week"
    },
    "scheduleInfo": {
      "volumeID": "1",
      "name": "MCA1"
    },
    "monthdays": [],
    "weekdays": [
      {
        "day": 0,
        "offset": 1
      },
      {
        "day": 3,
        "offset": 1
      }
    ],
    "startingDate": "2015-06-01T19:17:54Z"
  },
  "id": 1
}
```

応答例 1

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Week"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 0,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 0,
      "monthdays": [],
      "paused": false,
      "recurring": false,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 4,
      "scheduleInfo": {
        "name": "MCA1",
        "volumeID": "1"
      },
      "scheduleName": "MCAsnapshot1",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-06-01T19:17:54Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": [
        {
          "day": 0,
          "offset": 1
        },
        {
          "day": 3,
          "offset": 1
        }
      ]
    },
    "scheduleID": 4
  }
}
```

要求例 2.

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- 繰り返し作成されます（指定した日にちのスケジュールされた間隔で指定した時刻に実行されます）。
- 開始日以降の毎月 1 日、10 日、15 日、30 日に実行されます。
- スケジュールされた各日にちの午後 12 : 15 に実行されます。
- 1 つのボリューム（ボリューム ID = 1）のみが含まれます。

```
{
  "method": "CreateSchedule",
  "params": {
    "hours": 12,
    "minutes": 15,
    "paused": false,
    "recurring": true,
    "scheduleName": "MCASnapshot1",
    "scheduleType": "snapshot",
    "attributes": {
      "frequency": "Days Of Month"
    },
    "scheduleInfo": {
      "volumeID": "1"
    },
    "weekdays": [
    ],
    "monthdays": [
      1,
      10,
      15,
      30
    ],
    "startingDate": "2015-04-02T18:03:15Z"
  },
  "id": 1
}
```

応答例 2

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Month"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 12,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 15,
      "monthdays": [
        1,
        10,
        15,
        30
      ],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 5,
      "scheduleInfo": {
        "volumeID": "1"
      },
      "scheduleName": "MCASnapshot1",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-04-02T18:03:15Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": []
    },
    "scheduleID": 5
  }
}

```

要求例 3

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- 2015 年 4 月 2 日にスケジュールされた間隔で 5 分以内に開始されます。
- 繰り返し作成されます（指定した日にちのスケジュールされた間隔で指定した時刻に実行されます）。
- 開始日以降の毎月 2 日、3 日、4 日に実行されます。
- スケジュールされた各日にちの午後 14 : 45 に実行されます。
- ボリュームのグループが含まれています（ボリューム 1 および 2）。

```
{
  "method": "CreateSchedule",
  "params": {
    "hours": 14,
    "minutes": 45,
    "paused": false,
    "recurring": true,
    "scheduleName": "MCASnapUser1",
    "scheduleType": "snapshot",
    "attributes": {
      "frequency": "Days Of Month"
    },
    "scheduleInfo": {
      "volumes": [1, 2]
    },
    "weekdays": [],
    "monthdays": [2, 3, 4],
    "startingDate": "2015-04-02T20:38:23Z"
  },
  "id": 1
}
```

応答例 3

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Month"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 14,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 45,
      "monthdays": [
        2,
        3,
        4
      ],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 6,
      "scheduleInfo": {
        "volumes": [
          1,
          2
        ]
      },
      "scheduleName": "MCASnapUser1",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-04-02T20:38:23Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": []
    },
    "scheduleID": 6
  }
}

```

新規導入バージョン

9.6

CreateSnapshot の更新

「CreateSnapshot」を使用して、ボリュームのポイントインタイムコピーを作成でき

ます。任意のボリュームまたは既存の Snapshot から Snapshot を作成できます。

この API メソッドで Snapshot ID を指定しない場合、ボリュームのアクティブなブランチから Snapshot が作成されます。Snapshot の作成元のボリュームがリモートクラスタにレプリケートされている場合は、Snapshot も同じターゲットにレプリケートできます。enableRemoteReplication パラメータを使用して、Snapshot 機能を使用したレプリケーションを有効にします。



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「 attributes 」	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON オブジェクト	なし	いいえ
enableRemoteReplication	Snapshot をリモートストレージにレプリケートするかどうかを指定します。有効な値は次のとおり • True : スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされます • 'false': スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされません	ブール値	いいえ	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「enseireSerialCreation」	<p>以前の Snapshot レプリケーションが実行中の場合に Snapshot を作成しないように指定します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • True : これにより '一度に 1 つのスナップショットのみがレプリケートされます以前の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合、新しい Snapshot の作成は失敗します。 • 'false': デフォルト別の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合は、この Snapshot を作成できます。 	ブール値	「偽」	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
有効期限	Snapshot を削除するまでの時間を指定します。「保持」と一緒に使用することはできません。expirationTime または retention のどちらも指定しない場合、Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れになりません。値が null の場合 'スナップショットは永続的に保持されます「fifo」の値を指定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、スナップショットが先入れ先出しベースで保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。	文字列	なし	いいえ
「name」	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
「延長」	このパラメータは 'expirationTime' パラメータと同じですが '時刻の形式は HH:mm:ss で 'expirationTime' も 'retention' も指定しない場合 'スナップショットは期限切れになりません	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「MirrorLabel」を参照してください	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用するラベル。	文字列	なし	いいえ
'snapshotID'	新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID 。 Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。	整数	なし	いいえ
「ボリューム ID」	コピー元のボリュームイメージの一意の ID 。	整数	なし	はい。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
チェックサム	保存された Snapshot の正しい数字を表す文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。	文字列
Snapshot ID	新しい Snapshot の一意の ID 。	Snapshot ID
スナップショット	作成された Snapshot の情報を含むオブジェクト。	スナップショット

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "CreateSnapshot",
  "params": {
    "volumeID": 1
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "checksum": "0x0",
    "snapshot": {
      "attributes": {},
      "checksum": "0x0",
      "createTime": "2016-04-04T17:14:03Z",
      "enableRemoteReplication": false,
      "expirationReason": "None",
      "expirationTime": null,
      "groupID": 0,
      "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
      "name": "2016-04-04T17:14:03Z",
      "snapshotID": 3110,
      "snapshotUUID": "6f773939-c239-44ca-9415-1567eae79646",
      "status": "done",
      "totalSize": 5000658944,
      "virtualVolumeID": null,
      "volumeID": 1
    },
    "snapshotID": 3110
  }
}
```

例外

「createsnapshot」API が呼び出され、スナップショットを作成できない場合は、xNotPrimary 例外が表示されます。これは想定される動作です。CreateSnapshot API 呼び出しを再試行します。

DeleteGroupSnapshot

グループ Snapshot を削除するには、「削除グループ Snapshot 」を使用します。

saveMembers パラメータを使用すると、グループ内のボリュームに対して作成された Snapshot は削除せずに、グループとの関連付けだけを削除できます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
groupSnapshotID	グループ Snapshot の一意の ID 。	整数	なし	はい。
セーブメンバー	グループ Snapshot を削除するときに削除する内容を指定します。有効な値： • true ： Snapshot は保持されますが、グループの関連付けは削除されます。 • false ：グループと Snapshot が削除されます。	ブール値	いいえ	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "DeleteGroupSnapshot",
  "params": {
    "groupSnapshotID": 10,
    "saveMembers" : true
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

新規導入バージョン

9.6

Snapshot を削除します

スナップショットを削除するには、`DeleteSnapshot`メソッドを使用します。

現在アクティブな Snapshot である Snapshot は削除できません。現在の Snapshot を削除するには、ロールバックして別の Snapshot をアクティブにする必要があります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
Snapshot ID	削除する Snapshot の ID。	整数	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
OverrideSnapMirrorHold	レプリケーション時に Snapshot に対するロックを無効にします。このパラメータを使用すると、関連付けられている SnapMirror 関係の削除後に古い SnapMirror の Snapshot を削除できます。	ブール値	いいえ	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "DeleteSnapshot",
  "params": {
    "snapshotID": 8,
    "overrideSnapMirrorHold": true
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

新規導入バージョン

9.6

詳細については、こちらをご覧ください

[RollbackToSnapshot](#)

GetSchedule

GetSchedule を使用すると、スケジュールされたスナップショットに関する情報を取得できます

システムに多数の Snapshot スケジュールがある場合は、特定のスケジュールに関する情報を表示できます。また、scheduleID パラメータに複数の ID を指定して、複数のスケジュールに関する情報を取得します。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
scheduleID です	表示するスケジュールの一意の ID。	整数	なし	はい。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
スケジュール	スケジュール属性の配列。	スケジュール 配列

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "GetSchedule",
  "params": {
    "scheduleID" : 2
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Time Interval"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 0,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": "2015-03-23T21:25:00Z",
      "minutes": 2,
      "monthdays": [],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 2,
      "scheduleInfo": {
        "name": "MCA2",
        "volumeID": "3"
      },
      "scheduleName": "MCAsnapshot2",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-03-23T19:28:57Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": []
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ListGroupSnapshots を参照してください

「ListGroupSnapshots」メソッドを使用すると、作成済みのすべてのグループ Snapshot に関する情報を取得できます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
groupSnapshotID	個々のグループ Snapshot ID の情報を取得します。	整数	なし	いいえ
個のボリューム	照会する一意のボリューム ID の配列。 このパラメータを指定しない場合、クラスタ上のすべてのグループ Snapshot が含まれます。	volumeID の配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
グループ Snapshot	各グループ Snapshot の情報を含むオブジェクトのリスト。	groupSnapshot 配列

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListGroupSnapshots",
  "params": {
    "volumes": [
      31,
      49
    ]
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "groupSnapshots": [
    {
```

```

    "status": "Done",
    "remoteStatuses": [
      {
        "volumePairUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
        "remoteStatus": "Present"
      }
    ],
    "attributes": {},
    "groupSnapshotID": 1,
    "createTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
    "members": [
      {
        "snapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
        "expirationReason": "None",
        "virtualVolumeID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
        "groupID": 1,
        "createTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
        "totalSize": 1,
        "snapMirrorLabel": "test1",
        "volumeName": "test1",
        "instanceCreateTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
        "volumeID": 1,
        "checksum": "0x0",
        "attributes": {},
        "instanceSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
        "snapshotID": 1,
        "status": "Done",
        "groupSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
        "expirationTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
        "enableRemoteReplication": true,
        "name": "test1",
        "remoteStatuses": [
          {
            "volumePairUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-
cdef0123",
            "remoteStatus": "Present"
          }
        ]
      }
    ],
    "enableRemoteReplication": true,
    "name": "test1",
    "groupSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123"
  }
]
}

```

ListSchedules（リストスケジュール

「ListSchedules」を使用すると、作成されたすべてのスケジュール済みスナップショットに関する情報を取得できます。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
スケジュール	現在クラスタにあるスケジュールのリスト。	スケジュール 配列

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListSchedules",
  "params": {},
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedules": [
      {
        "attributes": {
          "frequency": "Days Of Week"
        },
        "hasError": false,

```

```

    "hours": 0,
    "lastRunStatus": "Success",
    "lastRunTimeStarted": null,
    "minutes": 1,
    "monthdays": [],
    "paused": false,
    "recurring": false,
    "runNextInterval": false,
    "scheduleID": 3,
    "scheduleInfo": {
        "name": "Wednesday Schedule",
        "retention": "00:02:00",
        "volumeID": "2"
    },
    "scheduleName": "Vol2Schedule",
    "scheduleType": "Snapshot",
    "startingDate": "2015-03-23T20:08:33Z",
    "toBeDeleted": false,
    "weekdays": [
        {
            "day": 3,
            "offset": 1
        }
    ]
},
{
    "attributes": {
        "frequency": "Time Interval"
    },
    "hasError": false,
    "hours": 0,
    "lastRunStatus": "Success",
    "lastRunTimeStarted": "2015-03-23T21:40:00Z",
    "minutes": 2,
    "monthdays": [],
    "paused": false,
    "recurring": true,
    "runNextInterval": false,
    "scheduleID": 2,
    "scheduleInfo": {
        "name": "MCA2",
        "volumeID": "3"
    },
    "scheduleName": "MCAsnapshot2",
    "scheduleType": "Snapshot",
    "startingDate": "2015-03-23T19:28:57Z",

```

```
        "toBeDeleted": false,
        "weekdays": []
    }
]
}
}
```

新規導入バージョン

9.6

Listsnapshots を使用します

listsnapshots を使用すると ' ボリューム上で作成された各スナップショットの属性を取得できます

このメソッドをソースクラスタから呼び出すと、ターゲットクラスタにある Snapshot の情報がソースクラスタに表示されます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
ボリューム ID	ボリュームの Snapshot を取得します。ボリューム ID を指定しない場合、すべてのボリュームのすべての Snapshot が返されます。	整数	なし	いいえ
Snapshot ID	個々の Snapshot ID の情報を取得します。	整数	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
Snapshot	各ボリュームの各 Snapshot に関する情報。ボリューム ID を指定しない場合、すべてのボリュームのすべての Snapshot が返されます。グループに含まれる Snapshot には、グループ ID が返されます。	スナップショット 配列

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListSnapshots",
  "params": {
    "volumeID": "1"
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "snapshots": [
      {
        "attributes": {},
        "checksum": "0x0",
        "createTime": "2015-05-08T13:15:00Z",
        "enableRemoteReplication": true,
        "expirationReason": "None",
        "expirationTime": "2015-05-08T21:15:00Z",
        "groupID": 0,
        "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
        "name": "Hourly",
        "remoteStatuses": [
          {
            "remoteStatus": "Present",
            "volumePairUUID": "237e1cf9-fb4a-49de-a089-a6a9a1f0361e"
          }
        ],
        "snapshotID": 572,
        "snapshotUUID": "efa98e40-cb36-4c20-a090-a36c48296c14",
        "status": "done",
        "totalSize": 10000269312,
        "volumeID": 1
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifyGroupSnapshot の追加

「ModyGroupSnapshot」を使用して、スナップショットのグループの属性を変更できます。また、このメソッドを使用すると、読み取り / 書き込み（ソース）ボリュームで作成された Snapshot を、ターゲットストレージシステムにリモートでレプリケートできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
enableRemoteRepl ication	<p>作成した Snapshot をリモートクラスタにレプリケートできるようにします。有効な値は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> • True : スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされます • 'false': スナップショットはリモート・ストレージにレプリケートされません 	ブール値	いいえ	いいえ
有効期限	<p>Snapshot を削除するまでの時間を指定します。保持とともに使用することはできません。元の Snapshot の有効期限または保持期間がどちらも指定されていない場合、Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れになりません。値が null の場合 'スナップショットは永続的に保持されますFIFO の値を設定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、FIFO (First-In First-Out) ベースでスナップショットが保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。</p>	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ

名前	グループ Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
groupSnapshotID	Snapshot のグループの ID。	文字列	なし	はい。
snapMirrorLabel のことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
groupSnapshot	変更されたグループ Snapshot の情報を含むオブジェクト。	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "id": 695,
  "method": "ModifyGroupSnapshot",
  "params": {
    "groupSnapshotID": 3,
    "enableRemoteReplication": true,
    "expirationTime": "2016-04-08T22:46:25Z"
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 695,
  "result": {
    "groupSnapshot": {
      "attributes": {},
      "createTime": "2016-04-06T17:31:41Z",
      "groupSnapshotID": 3,
      "groupSnapshotUUID": "8b2e101d-c5ab-4a72-9671-6f239de49171",
      "members": [
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-06T17:31:41Z",
          "enableRemoteReplication": true,
          "expirationReason": "None",
          "expirationTime": "2016-04-08T22:46:25Z",
          "groupID": 3,
          "groupSnapshotUUID": "8b2e101d-c5ab-4a72-9671-6f239de49171",
          "name": "grpsnap1-2",
          "snapshotID": 2,
          "snapshotUUID": "719b162c-e170-4d80-b4c7-1282ed88f4e1",
          "status": "done",
          "totalSize": 1000341504,
          "virtualVolumeID": null,
          "volumeID": 2
        }
      ],
      "name": "grpsnap1",
      "status": "done"
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifySchedule の追加

「変更スケジュール」を使用して、スケジュールされたスナップショットが発生する間隔を変更できます。スケジュールを削除または一時停止することもできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
属性（Attributes）	Snapshot の作成頻度。有効な値は次のとおり <ul style="list-style-type: none">・「週の日」・「月の日」・「時間間隔」	JSON オブジェクト	なし	いいえ
時間	Snapshot を作成する日数または時間数。この時間を経過すると、Days of Week モードまたは Days of Month モードになります。有効な値は 0~24 です。	文字列	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ
分	スナップショットが実行される間隔（分単位）。スナップショットは、曜日モードまたは日数モードで実行されます。有効な値は 0~59 です。	整数	なし	いいえ
lastRunStatus の順にクリックします	最後にスケジュールされた Snapshot の作成結果またはステータス。	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
一時停止中	<p>スケジュールを一時停止するかどうか。 有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 	ブール値	なし	いいえ
繰り返し	<p>スケジュールを繰り返すかどうか。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 	ブール値	なし	いいえ
RunNextInterval をクリックします	<p>スケジューラが次回アクティブになったときに Snapshot を実行するかどうか。 有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真」 ・「偽」 <p>true に設定すると、次にスケジューラがアクティブになったときにスケジュールされた Snapshot が作成され、その後 false にリセットされます。</p>	ブール値	いいえ	いいえ
scheduleID です	スケジュールの一意の ID。	整数	なし	はい。
スケジュール名	スケジュールの一意の名前。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ
スケジューラの種類	作成するスケジュールのタイプ。サポートされている値は「スナップショット」のみです。	文字列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
'scheduleInfo'	<p>スケジュールに指定した一意の名前、作成された Snapshot の保持期間、Snapshot 作成元のボリュームのボリューム ID 。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • enableRemoteReplication：リモート・レプリケーションにスナップショットを含めるかどうかを指定しますブール値 • ensureSerialCreation：以前の Snapshot レプリケーションが進行中の場合に、新しい Snapshot の作成を許可するかどうかを指定します。ブール値 • name：使用するスナップショット名。文字列 • retention：Snapshot が保持されている時間。時間に応じて、次のいずれかの形式で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ fifo：スナップショットは先入れ先出し（FIFO）ベースで保持されます。空の場合、Snapshot は無期限に保持されます。文字列 <p>HH：mm ：ss</p>	"スケジュール"	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
snapMirrorLabel のことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用するラベル。	文字列	なし	いいえ
To BeDeleted	スケジュールを削除対象としてマークするかどうか。有効な値： <ul style="list-style-type: none"> 「真」 「偽」 	ブール値	なし	いいえ
開始日	スケジュールが最初に開始された日、または開始される日。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
月日	Snapshot を作成する特定の日にち。有効な値は 1~31 です。	整数の配列	なし	はい。
平日	Snapshot を作成する曜日。曜日は日曜の「0」から始まり、オフセットは「1」です。	文字列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
スケジュール	変更されたスケジュール属性を含むオブジェクト。	スケジュール

要求例

```
{
  "method": "ModifySchedule",
  "params": {
    "scheduleName" : "Chicago",
    "scheduleID" : 3
  },
  "id": 1
}
```

応答例

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Week"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 5,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 0,
      "monthdays": [],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 3,
      "scheduleInfo": {
        "volumeID": "2"
      },
      "scheduleName": "Chicago",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": null,
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": [
        {
          "day": 2,
          "offset": 1
        }
      ]
    }
  }
}

```

新規導入バージョン

9.6

ModifySnapshot の追加

「modifySnapshot」を使用すると、現在スナップショットに割り当てられている属性を変更できます。また、このメソッドを使用すると、読み取り / 書き込み（ソース）ボリュームで作成された Snapshot を、Element ソフトウェアを実行しているターゲットストレージクラスタにリモートでレプリケートできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
enableRemoteRepli cation	作成した Snapshot をリモートストレ ージクラスタにレプリ ケートできるように します。有効な値は 次のとおり • True : スナップ ショットはリモ ート・ストレ ージにレプリケー トされます • 'false': スナップ ショットはリモ ート・ストレ ージにレプリケー トされません	ブール値	いいえ	いいえ

有効期限	Snapshot を削除するまでの時間を指定します。保持とともに使用することはできません。元の Snapshot の有効期限または保持期間がどちらも指定されていない場合、Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れになりません。値を null にすると、Snapshot が永続的に保持されます。FIFO の値を設定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、FIFO（First-In First-Out）ベースでスナップショットが保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
snapMirrorLabel のことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
Snapshot ID	Snapshot の識別子。	文字列	なし	はい。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
スナップショット	変更された Snapshot の情報を含むオブジェクト。	スナップショット

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ModifySnapshot",
  "params": {
    "snapshotID": 3114,
    "enableRemoteReplication": "true",
    "name" : "Chicago"
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "snapshot": {
      "attributes": {},
      "checksum": "0x0",
      "createTime": "2016-04-04T17:26:20Z",
      "enableRemoteReplication": true,
      "expirationReason": "None",
      "expirationTime": null,
      "groupID": 0,
      "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
      "name": "test1",
      "snapshotID": 3114,
      "snapshotUUID": "5809a671-4ad0-4a76-9bf6-01cccf1e65eb",
      "status": "done",
      "totalSize": 5000658944,
      "virtualVolumeID": null,
      "volumeID": 1
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

RollbackToGroupSnapshot

「RollbackToGroupSnapshot」を使用すると、Snapshot グループ内のすべてのボリュームを、それぞれのボリュームの Snapshot にロールバックできます。

グループ Snapshot にロールバックすると、グループ Snapshot 内に各ボリュームの一時 Snapshot が作成されます。



- Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。クラスタフルが「ステージ 4」または「ステージ 5」の場合、Snapshot は作成されません。
- スライスの同期の実行中にグループ Snapshot へのボリュームのロールバックが失敗することがあります。再試行します RollbackToGroupSnapshot 同期が完了した後。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
「 groupSnapshotID 」	グループ Snapshot の一意の ID 。	整数	なし	はい。
「 attributes 」	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON オブジェクト	なし	いいえ
「 name 」	「 aveCurrentState 」が true の場合に作成される、ボリュームの現在の状態のグループ Snapshot の名前。名前を指定しない場合、Snapshot （グループおよび個々のボリューム）の名前には、ロールバックが発生した時間のタイムスタンプが設定されます。	文字列	なし	いいえ
「 aveCurrentState 」	<p>以前のアクティブボリュームイメージを保存するかどうかを指定します。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「 true 」：以前のアクティブボリュームイメージは保持されます。 'false'：以前のアクティブ・ボリューム・イメージが削除されます 	ブール値	いいえ	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
----	----	--------

メンバー	<p>グループ Snapshot のメンバーのボリューム ID と Snapshot ID を含む配列。値</p> <ul style="list-style-type: none"> • checksum : 保存された Snapshot のデータを表す短い文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。文字列 • snapshotID : 新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID 。 Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。整数 • volumeID : Snapshot のソースボリュームの ID 整数 	JSON オブジェクトの配列
groupSnapshotID	<p>「aveCurrentState」が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>「aveCurrentState」が true に設定されている場合、新しく作成されたグループ Snapshot の一意の ID 。</p>	整数
groupSnapshot	<p>「aveCurrentState」が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>'aveCurrentState' が true に設定されている場合 'RollbackToGroupSnapshot' が直前にロールバックされたグループスナップショットに関する情報を含むオブジェクトです</p>	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "id": 438,
  "method": "RollbackToGroupSnapshot",
  "params": {
    "groupSnapshotID": 1,
    "name": "grpsnap1",
    "saveCurrentState": true
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```

{
  "id": 438,
  "result": {
    "groupSnapshot": {
      "attributes": {},
      "createTime": "2016-04-06T17:27:17Z",
      "groupSnapshotID": 1,
      "groupSnapshotUUID": "468fe181-0002-4b1d-ae7f-8b2a5c171eee",
      "members": [
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-06T17:27:17Z",
          "enableRemoteReplication": false,
          "expirationReason": "None",
          "expirationTime": null,
          "groupID": 1,
          "groupSnapshotUUID": "468fe181-0002-4b1d-ae7f-8b2a5c171eee",
          "name": "2016-04-06T17:27:17Z",
          "snapshotID": 4,
          "snapshotUUID": "03563c5e-51c4-4e3b-a256-a4d0e6b7959d",
          "status": "done",
          "totalSize": 1000341504,
          "virtualVolumeID": null,
          "volumeID": 2
        }
      ],
      "name": "2016-04-06T17:27:17Z",
      "status": "done"
    },
    "groupSnapshotID": 3,
    "members": [
      {
        "checksum": "0x0",
        "snapshotID": 2,
        "snapshotUUID": "719b162c-e170-4d80-b4c7-1282ed88f4e1",
        "volumeID": 2
      }
    ]
  }
}

```

新規導入バージョン

9.6

RollbackToSnapshot

「RollbackToSnapshot」メソッドを使用すると、アクティブボリュームイメージの既存のスナップショットを作成できます。このメソッドは、既存の Snapshot から新しい Snapshot を作成します。

新しい Snapshot がアクティブになり、既存の Snapshot は手動で削除するまで保持されます。saveCurrentState パラメータを true に設定しないかぎり、以前にアクティブだった Snapshot は削除されます。

- cluster_Full*



- Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。
- スライスの同期中にボリュームをSnapshotにロールバックすると失敗することがあります。再試行します RollbackToSnapshot 同期が完了した後。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
ボリューム ID	ボリュームの ID。	整数	なし	はい。
属性（Attributes）	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON 属性	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を指定しない場合、ロールバックされる Snapshot の名前の末尾に「 - copy」が追加されます。	文字列	なし	いいえ
Snapshot ID	指定したボリュームで以前に作成された Snapshot の ID。	整数	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
saveCurrentState	<p>以前のアクティブボリュームイメージを保存するかどうかを指定します。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • true : 以前のアクティブボリュームイメージは保持されます。 • false : 以前のアクティブボリュームイメージは削除されます。 	ブール値	いいえ	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
チェックサム	格納された Snapshot のデータを表す短い文字列。	文字列
Snapshot ID	<p>saveCurrentState が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>saveCurrentState が true に設定された場合、新しく作成された Snapshot の一意の ID 。</p>	整数
スナップショット	<p>saveCurrentState が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>saveCurrentState が true に設定されている場合、新しく作成された Snapshot に関する情報を含むオブジェクト。</p>	スナップショット

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "RollbackToSnapshot",
  "params": {
    "volumeID": 1,
    "snapshotID": 3114,
    "saveCurrentState": true
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "checksum": "0x0",
    "snapshot": {
      "attributes": {},
      "checksum": "0x0",
      "createTime": "2016-04-04T17:27:32Z",
      "enableRemoteReplication": false,
      "expirationReason": "None",
      "expirationTime": null,
      "groupID": 0,
      "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
      "name": "test1-copy",
      "snapshotID": 1,
      "snapshotUUID": "30d7e3fe-0570-4d94-a8d5-3cc8097a6bfb",
      "status": "done",
      "totalSize": 5000658944,
      "virtualVolumeID": null,
      "volumeID": 1
    },
    "snapshotID": 1
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。